

埼玉県理容美容専門学校

平成 29 年度 第 1 回美容科教育課程編成委員会議事録 (美容科)

【日 時】平成 29 年 6 月 26 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 00

【会 場】埼玉県理容美容専門学校 3 階 会議室

【委 員】出席 : 石井孝之、吉田三晃、加藤隆代、相川浩一、

島田 美紀、中川一江、遠藤昌宏

欠席 : 間山 弘子

(敬称略)

1 開会の辞 (校長 相川浩一) 平成 29 年度第 1 回教育課程編成委員会を開催することを宣言した。

2 委員の紹介 (司会 中川 一江)

各委員の紹介及び配布資料の説明を行う。

3 校長挨拶 (校長 相川浩一)

出席へのお礼及び、在学生の学習状況や卒業生の国家試験合格率、就職状況などの報告をし、本会で活発な意見交換を求める。

4 報告事項

経営企画 (経営企画部長 島田美紀)

①H29 年度より学校カリキュラムを 6 時間制に変更、H30 年度より単位制に移行するにあたり、9 月 1 日に学事課に届け出を予定している。

②本委員会よりの助言をふまえて退学者防止策として TDL への社会科見学を実施した。

③理容師美容師養成に係る法改正について、H30 年度より教育課程が変更するに伴い、一方の資格保持者対象の修得者課程の設置を申請中。また実務実習時間の増加に対応し、企業と連携を強化する計画である。

④本校の展望について、本校の歴史をブランド力として教員の資質向上、学生の技術大会への積極的な参加を目指す。修得者課程を通じ理美容双方の資格取得等、学生が卒業後も生涯をとおして学べる機会を提供することも計画する。

## 5 協議事項

教育計画（教務課長 中川一江）

①法改正に対応し、今後の授業で取り組むべき点についてご意見をいただきたい。企業との連携を強化するにあたり校外実習の内容についてサロンワークを強化することは可能か。

吉田 / 企業連携としての実務実習について、現在の校外実習をより実践的にすることは顧客に危険のないシャンプー等であれば可能かもしれないが、学校の授業で十分なシャンプー実習やサロンでのロールプレイが行われていることが前提である。これは卒業後の即戦力として求められる点でもある。

石井 / 学生にとって緊張感のある接客演習のためにモデル選定を外来者に広げるなど、授業デザイン及びその評価基準も検討すべきである。

### ②業界から学校への要望

吉田 / 学生が就職活動する上で、将来のビジョン・生活設計を意識する機会を持つべきである。

加藤 / サロンの接客に必要な、返事・敬語の使い方・電話対応等のマナーの修得を望む。また、指示待ちではなく準備・片付け等ができるようにする事を期待したい。

石井 / サロン接客の順序は、店舗によって違いはあるが基本的な部分が身につけていけば応用は利くと思う。

6 閉会の辞（校長 相川浩一）外部からの貴重なご意見をいただき、また現場からの実態に沿った意見も聞けて大変参考になった。今後の学校運営に役立てていきたい。以上で平成29年度第1回教育課程編成委員会を閉会する。

以上